

平成30年度 第1回 防犯対策分科会会議録

日 時	平成30年5月28日（月）午後2時00分から
開催場所	栄区役所本館4階1号会議室
出席者	委員：保坂、岡田、折田、西川、吉野、岡里（敬称略） 事務局：早乙女、石塚、樋下田
議 事	<p>1 平成30年度栄区セーフコミュニティ現地審査当日の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座長から、現地審査が平成30年6月15日～6月17日の三日間で行われ、当分科会は6月17日の14時から発表するなど、当日の流れの概要について説明があり、確認した。服装については、平服や活動時着用しているもので来ることで一致した。 ・事務局から、発表のレイアウトや方法について、昨年度行った事前指導と同じということで説明があり、確認をした。また、そのほかの分科会も発表があるので、関心があるものがあつたらぜひ参加してほしいと紹介があつた。17日（日）の「講評」は、第2回セーフコミュニティ推進会議を兼ねていることの説明があり、確認した。 <p>2 当日の発表資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から、当日発表に使用されるパワーポイント資料について説明があつた。変更・追加箇所は、「スライド2分科会の構成」・「スライド13 取組み概要」・「スライド19 被害者へのアンケートの検討」だと説明があつた。栄警察署からは、スライド19について、被害届が提出された際に、区役所からの手紙として、その封筒の中にアンケートや相談窓口の案内の紙が入ったものを渡すなどの案が考えられると説明があり、今後事務局と協議していくことで意見が一致した。 ・委員から、被害にあつた方が、アンケートに回答できる状態にあるのか心配する意見も上がったが、事務局からそういった心のケアについても支援するためのアンケートであると説明があつた。 <p>3 振り込め詐欺に関するアンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から、前回の防犯対策分科会で議題にあつたアンケートについて、翠風荘や区内ケアプラザで、2月から3月の間にアンケートを実施したことと、その結果について説明があつた。 ・アンケート結果で、架空請求を知らない人が半数以上もいることが残念という意見があつたが、事例等が書いてあれば、もしかしたら知っている人の割合が増えたのではという意見もあつた。 ・委員から、振り込め詐欺対策として留守番電話にしているが約半数もいることに、今までの啓発の成果がでていくという意見があつた。栄警察署からも、高齢者に声掛けをすると「留守番電話に設定する方法を知らない」という声があるので、啓発で自宅に訪問した時は、自宅に上がらせてもらって、留守番設定をしているとのことだった。

	<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員から、これだけメディアで振り込め詐欺について取り上げているにもかかわらず、被害件数・被害額が増加してしまっていることは、とても残念であり、当事者意識がないことが原因の一つではないかという意見があった。 ・栄警察署から、あくまでも認知された件数・金額であり、数字からは見えてこない被害者がいる。家族やご近所に知られてしまうことが恥ずかしいということが原因となっており、金銭面以外の被害が振り込め詐欺にあるので、今後の対策が必要だという意見があり、今後当分科会でも考えていくことで一致した。 ・座長から、再認証に向けて当日は委員全員で乗り切ることを確認した。
<p>資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度栄区セーフコミュニティ現地審査当日の流れについて（通知） 2 当日発表用パワーポイント資料 3 振り込め詐欺に関するアンケート結果